

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会

事業報告目次

1	法人運営事業	(1)
2	地域福祉推進事業	(5)
3	市受託事業	(9)
4	県社協受託事業	(1 6)
5	共同募金配分事業	(1 7)
6	福祉金庫基金	(1 8)
7	介護保険訪問介護事業	(2 0)
8	介護保険通所介護事業	(2 3)
9	介護保険居宅介護支援事業	(2 4)
10	障害者サービス事業	(2 5)
11	地域支援事業	(2 5)

令和4年度 事業報告

事業の実施概要

令和4年度は、社会福祉協議会の事業である地域福祉推進大会の3年ぶり開催や障害者社会参加促進事業の一部実施、ふれあいいいききサロンをはじめとする小地域福祉活動など、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた活動が今まで以上に再開していきました。

一方、令和2年3月から受託事業として行ってきた新型コロナウイルス感染症関係の特例貸付事業が、令和4年9月末をもって終了となりました。しかしながら、引き続き生活等にお困りの方に、生活困窮者自立支援事業や生活福祉資金貸付事業等を通じて継続的な相談支援を実施し、相談者に寄り添った支援に努めました。

また、当社が運営する介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）においては、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、市民の目線に立った介護サービスの提供に努めました。

1 法人運営事業

(1) 役員及び会議

①役員

令和4年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

令和4年度役員		退任者	
役員名	氏名	役員名	氏名
会 長	和 田 昌 弘	理 事	久 保 田 一 正
副 会 長	小 俣 一 彦		
//	小 宮 文 男		
//	安 藤 睦 美		
理 事	飯 島 貞 夫		
//	小 林 幹 夫		
//	藤 本 兼 三		
//	畠 山 哲 薫		
//	青 柳 薫		
//	小 俣 理 美		
//	蜂 須 賀 所 明		
//	小 俣 民 男		
//	白 川 恵 子		
//	小 池 頼 行		
//	安 藤 一 洋		
監 事	山 口 和 義		
//	永 岩 尊 暢		

②会議

ア 理事会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和4年 4月 8日 （理事15名・監事2名） ※決議の省略	1 理事候補者の選定について 2 令和4年第3回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和4年 4月27日 （理事15名・監事2名） ※決議の省略	1 常務理事の選定について
令和4年 6月 1日 （理事12名・監事1名）	① 会長の職務執行状況の報告 1 大月市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 2 令和3年度大月市社会福祉協議会事業報告について 3 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 4 令和4年度大月市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
令和4年10月17日 （理事12名・監事1名）	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について 3 令和4年第5回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和5年 1月30日 （理事12名・監事1名）	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について 4 令和5年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和5年 3月20日 （理事13名・監事0名）	① 会長の職務執行状況の報告 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 4 社会福祉法人大月市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 5 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について 6 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 7 社会福祉法人大月市社会福祉協議会ふたば保育園管理規程の廃止について

	8 社会福祉法人大月市社会福祉協議会ふたば保育園運営規程の廃止について 9 役員等賠償責任保険契約について 10 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 11 令和5年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について 12 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について 13 評議員候補者の推薦について 14 令和5年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について 15 令和5年第1回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
--	---

イ 評議員会

開催年月日(出席者数)	会 議 内 容
令和4年 4月18日 (30名) ※決議の省略	1 理事の選任について
令和4年 6月20日 (17名)	1 令和3年度大月市社会福祉協議会事業報告について 2 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について
令和4年10月28日 (30名) ※決議の省略	1 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について
令和5年 2月10日 (30名) ※決議の省略	1 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について
令和5年 3月27日 (23名)	① 社会福祉法人大月市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ② 社会福祉法人大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 3 令和5年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について 4 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について

※ ○数字の内容は報告事項。

(2) その他

①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

年月日	氏名	金額(円)	物品の場合の品名
R4. 4. 15	匿名	5,000	
R4. 4. 27	匿名	20,000	
R4. 7. 19	大月を良くしよう市民の会	13,722	
R4. 8. 8	遊友会	25,007	
R4. 11. 7	匿名	10,000	
R4. 11. 7	匿名	5,000	
R4. 12. 14	岡部善幸・山田幸男	120,000	
R5. 2. 9	匿名	10,000	
R5. 3. 27	初狩ボランティア協議会	100,000	
	合計(9件)	308,729	

(敬称略)

◎ どんぐり牧場のご厚意を受け、牧場でとれた卵を昭和59年5月より、市内の一人暮らし虚弱老人に配布しています。
令和4年度は15名の対象者に約月2回、年間約210パック(1パック8個入)、ホームヘルパーを通じ贈らせていただいております。

②苦情内容及び解決結果の公表について

令和4年度 0件

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動事業

①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

社会福祉に携わる方々と高齢者・障害者の方々などが一堂に会し、本大会を契機に新たな社会福祉の推進方策を探ることを目的に実施しました。

大会では、社会福祉の発展に功績のあった個人の方々を表彰し、感謝の意を表したほか、第2部では公益財団法人さわやか福祉財団理事の鶴山芳子様「コロナ禍における地域の支えあい・助けあい活動」と題した講演をいただき、全国各地で実施方法の変更や工夫等を行っている地域活動の事例を中心にお話をいただきました。

- ・実施日 令和4年11月26日（土）
- ・場 所 大月市民会館 大ホール 参加者205名
- ・内 容 第一部 式典(社会福祉事業功労者への表彰)
第二部 講演「コロナ禍における地域の支えあい・助けあい活動」
～これからの地域福祉活動を考えるために～
講師：公益財団法人 さわやか福祉財団
理事 鶴山 芳子 氏

②各種団体助成事業

各種諸団体が行なう独自の福祉活動等に対し助成を行い、地域福祉の推進に努めました。

大月市障がい者福祉の会	70,000 円
大月市ボランティア協議会	270,000 円
地区社会福祉協議会（3地区）	150,000 円

*助成金には、共同募金配分金も含まれています

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的としており、それらの方が地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行なうものです。

実施主体は、各都道府県社会福祉協議会（山梨県社会福祉協議会）であり、基幹的社会福祉協議会として委託を受け、専門員を設置し、利用者に対する具体的な相談、援助、監督を行い、利用者本人との契約締結により生活支援員が利用者の通帳他書類などを預かり、日常生活における金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻しや福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）を行ないます。

また大月市において実施した市民後見人養成講座の受講修了者の方々に市民生活支援員として、7名の方に活動していただいております。

令和4年度においては、認知症高齢者4名、知的障がい者7名、精神障がい者7名、その他1名、計19名への支援を行ないました。

令和4年度 利用及び相談件数

対象	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	100	151	221	14	486

④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。大月市内では、現在55サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、レクリエーションやお茶飲みを通じ、サロンや地域の課題把握に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により活動を中止したサロンが多く、訪問はあまり実施できませんでした。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

また、真木地区において新たなサロン「みんなで楽しく集おう会」が開設されました。

・サロン登録数55箇所／社協職員派遣回数5回程度

地区名	サロン数	増減	登録者数
笹子	5	±0	87
初狩	0	±0	0
大月	7	±0	231
賑岡	5	-1	128
七保	8	-6	202
猿橋	10	-1	149
富浜	4	-1	64
梁川	5	-1	78
その他	2	+1	55
合計	46	-9	994

(2) ふれあい福祉推進事業

①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的として「ふれあい福祉バザー」の開催について検討しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数 (3月末現在)	10	13	13	9	16	17	0	10	88
延べ対象者数	138	141	151	116	190	210	8	119	1,073

③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員がご家庭訪問し、子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木の手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

(令和4年度配布数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	0	2	9	9	5	11	4	0	40

(3) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介をしています。ボランティア団体等の活動支援や、ボランティア体験プログラムの実施、ボランティア活動関係団体との連絡・調整、活動の普及、活動中の事故に備えてのボランティア活動保険加入促進等を行うことを通じて、活動を推進しています。また、学校や地域の様々な場面ですすめられる「福祉教育」の推進・支援をしています。

①ボランティアセンター活動事業

ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、ボランティア活動・ボランティア行事用保険加入相談・事故対応）

□ボランティア登録団体

- ・大月市ボランティア協議会・初狩地区ボランティア協議会・七保地区ボランティア協議会・猿橋地区ボランティア協議会・富浜地区ボランティア協議会・梁川地区ボランティア協議会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・おおつきお助け隊・絵手紙教室ボランティア・車いすレクダンス「矢車草」大月支部・童謡サークルわらべ・傾聴ボランティアつゆくさ・音訳ボランティア聲・手話奉仕員・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい・チームゆりヶ丘・Vおいわけ清流会・DPLS-JAPAN・観光ボランティア

□個人で登録活動しているボランティア会員225名

イ 広報・啓発事業

- ・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間4回行いました。

ウ ボランティアサークル等育成助成事業

- ・各種ボランティアサークルへの活動等に対し助成を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

点字サークル八重桜会	20,000円
手話サークル山百合	40,000円
車いすレクダンス協会大月支部	20,000円
音訳ボランティア聲	40,000円
傾聴ボランティアグループつゆくさの会	40,000円

エ ボランティア養成講座・研修の開催

講座名	回数	参加者
手話奉仕員養成講座入門・基礎課程（R4.4月～R5.2月）	40回	12名

オ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

学校名	内容
大月市立初狩小学校	米づくり、笹子初狩地域学習等
大月市立大月東小学校	地域の先輩からの学習等
大月市立七保小学校	福祉講話、地域住民との交流等
大月市立猿橋小学校	農業体験、福祉講話、命の学習等
大月市立鳥沢小学校	地域の方の講師による学習等
大月市立大月東中学校	大月探検、愛町作業等
大月市立猿橋中学校	愛橋作業、地域学習等
山梨県立やまびこ支援学校	地域との交流、奉仕活動等
フリースクールオンリーワン	地域との交流、福祉講話
山梨県立都留高等学校	探究プロジェクト事業等
自然学園高等学校	地域行事協力、福祉体験、追分人形

- カ 福祉教材、体験用具の貸出及び福祉講話の講師派遣（高齢者疑似体験・視覚障害体験・点字練習器・アイマスク・録音図書、手話・点字指導など）

キ ボランティア協議会事務局業務

ク 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート

ケ 収集ボランティア活動推進（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）

寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO法人エコキャップ推進協会、プルタブ・アルミ缶・ハガキ→ボランティアセンター、牛乳パック→就労支援事業所めばえ）

コ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）

3 市受託事業

(1) 在宅介護支援センター運営事業

①地域支援事業

ア 介護予防・生活支援サポーター養成講座

介護予防・生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える活動、担い手側と支援を受ける側がお互いいつまでも元気に暮らすことができる社会を創ることを目的に4回実施しました実施しました。

講座日時及び内容等

日 時	参加人数	内 容 等
8月5日(金) 13:30~16:45	13名	①講義「介護予防について」 ②講義「認知症の方への対応方法について」 講師：山梨県立介護実習普及センター 大森 舞子 氏 ③講義「ボランティア活動について」 講師：大月市社会福祉協議会
9月30日(金) 13:30~16:45	7名	
12月7日(水) 13:30~16:45	10名	
2月24日(金) 13:30~16:45	13名	

②包括的支援事業

ア 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター（大月市）を補完する形で地域における窓口機関として、市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、生活支援や日常生活におけるちょっとした困りごとの相談が多く、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

相談内容及び件数

内 容	件数
在宅福祉サービスに関する相談 (友愛訪問事業・オムツ支給事業・介護予防事業 他)	5
介護保険・権利擁護制度に関する相談(制度の内容や申請等)	16
生活支援に関する相談(お助け隊の利用他)	21
合 計	42

※合計42件のうち新規相談34件 継続相談8件

イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な主体が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

・地区組織活動推進委員会の開催の開催

地区組織活動推進委員会を開催し、10地区社協の社協において、情報の共有を行ないました。また地域の困りごとなどの情報交換を行ないました。

・就労的支援コーディネーター

高齢者の個性を生かしながら個人の特性や希望に合った活動をコーディネートして、高齢者の社会参加等を促進することを目的に令和4年度はお助け隊の活動のマッチングや調査を中心として実施しました。マッチング件数は52件、新規利用者調査件数は30件でした。

また、大月市で新たに始まった高齢者が介護保険施設等においてボランティア活動に参加することで自身の介護予防につなげていただく「大月市介護予防いきいきボランティア活動支援事業」において、介護予防・生活支援サポーター養成講座を受講した方の内、18名の方が登録しました。施設等のマッチングについてはコロナ禍もあり、実績はありません。

・小地域の高齢者ニーズの把握及び生活支援

地区社協の役員会等に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや日常生活の困りごと等を聞くことができました。

また住民の介護保険サービスや在宅福祉サービスで対応できない困りごとに対して、地域や各種団体等にて対応できるようにコーディネートしました。

③任意事業

ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

回数	期 日	場 所	参加者	内 容
1	令和4年 4月12日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	オリエンテーション・情報交換会
2	令和4年 5月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13	講義・実技「お気軽フィットネス」 浜田 純一 氏
3	令和4年 6月14日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11	レクリエーション交流会・意見交換 ポッチャゲーム
4	令和4年 7月12日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	福祉用具の活用法と介護保険制度について
5	令和4年 8月9日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13	栄養と身体のバランスについて 大塚製薬株式会社 堀口英明 氏
6	令和4年 9月13日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11	レクリエーション・交流会 輪投げゲーム

7	令和4年 10月11日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	「歯」の健康講座 大月市市民生活部
8	令和4年 11月8日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	9	入所施設の利用について 軽体操
9	令和4年 12月13日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13	クリスマス会・交流会（老人大学大正琴部）
10	令和5年 1月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	12	講義「高齢者の福祉制度について」 大月市福祉介護課
11	令和5年 2月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11	レクリエーション・交流会
12	令和5年 3月7日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13	1年間を振り返り・近況報告

④高齢者生活支援事業

ア 家族介護用品支給事業（寝たきり老人等オムツ支給事業）

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図りました。8種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様にご協力いただいています。

	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
年間延べ 配布数	37	4	67	60	70	19	50	16	323

イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、1回につき3,000円を上限に、一人当たり年3回を限度として実施しています。

登録者数	利用回数	助成金額合計
20名	37回	103,500円

ウ 車いす無料貸与事業（社協単独事業）（貸出期間は原則最長2週間）

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	5	7	12	10	7	4	11	8	5	5	11	6

合計 91件

(2) 高齢者生きがい活動推進事業

① ツキフェス22 (大ツキふれあいスポーツフェスティバル)

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等の年齢の違いや心身の状態の異なる全ての市民が一同に集い、ふれあいを深める場として事業の開催について検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

② 老人大学運営事業

心身ともに明朗かつ強健な高齢者生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、高齢者福祉の増進に努めました。

・サークル数18部 (学生226名)

①園芸部 27名 ②手芸部 13名 ③華道部 6名 ④書道部 16名
⑤詩吟部 12名 ⑥舞踊部 7名 ⑦大正琴部 7名 ⑧囲碁部 5名
⑨茶道部 8名 ⑩短歌部 6名 ⑪社会部 18名 ⑫ダンス部 19名
⑬料理部 7名 ⑭コーラス部 17名 ⑮カラオケ部 27名
⑯フラダンス部 12名 ⑰水墨画部 11名 ⑱民謡部 8名

・感染予防等を実施し、5月から午前のサークル学習のみを実施しました。

・全体学習 発表会や講演会など年間3回実施しました。

・年間行事 令和4年度第53期入学式と修了式と老大祭を3年ぶり市民会館で開催しました、又11月には老人大学秋の遠足を実施し、神奈川方面へ日帰りにて行ってきました。

(3) 障害者社会参加促進支援事業

① 障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら社会見学を実施しました。

令和4年11月6日 山梨県立考古博物館、りんご狩り 参加者59名

② ふれあい映画会「咲む(えむ)」上映 (障がい者理解普及啓発活動事業)

障がい者への理解や障害者福祉に対する意識、啓発を図る観点から、ふれあい上映会「咲む」を実施しました。一人の若い女性の女性が様々な障害を乗り越えていく姿を描いた映画となっており、多くの市民への理解啓発活動となりました。

令和4年12月3日午前・午後の2回上映 延べ参加者98名

③ 障がい者クリスマスのつどい

普段、外出が困難な方など誰もが参加でき、会員同士のふれあいを深めることを目的としたクリスマスのつどいの開催について検討しましたが、会場に100名前後の参加者を予定しており密になることが避けられないので、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

④障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に計画しましたが、コロナ禍であり、他市事業所利用の参加者もあることから新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

⑤社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年2回の交流会を開催しました。

令和4年7月2日 参加者20名 お気軽フィットネス

令和5年3月12日 参加者17名 「リニア見学センター」見学

⑥大月市障がい者福祉の会会報誌「おたより」発行

昨年と変わらず県内外の各種行事が中止となる中、外出の機会の少ない方やひとり暮らしの方など、会員同士の繋がりがなく相談相手がいないなど孤独を感じるのではないかと、思いの吐露先や生活の困りごとの共有、相談先として、会報誌「おたより」を年に2回発行しました。

発行にあたり編集委員会を9回にわたり開催し、各方面の方へご協力いただきました。紙面には、「福祉の会にて行った事業の報告、各部会の活動報告、市内障害者施設のインタビュー」などを掲載して会員に送付しました。

⑦大月市議会社会文教常任委員会との意見交換会の開催

障がい者福祉の会の役員13名と大月市議会社会文教常任委員会の議員6名により、「大月市における障がい者福祉の現状と課題」について意見交換会を行いました。

活発な意見交換が行われ、障がい者福祉の現状を知っていただく良い機会となりました。

令和4年12月21日 参加者13名 大月市議会議員6名

- ・その他、「富士ふれあいの村まつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(4) ふれあいのまちづくり事業

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくりを目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和4年度は、昨年に引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行ないました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

- ・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート

社協職員が受けもつ地区担当制の配置により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

- ・各種ボランティア講座及び研修会の開催を行いました。（再掲、ボランティアセンターとの連携）

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）の支援

- ・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度計画し、課題把握などに努めましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、訪問はあまり実施できませんでした。

しかし真木地区において、新たなサロンを立ち上げのため代表者等と話し合いを行い、新たなサロンを立ち上げることができました。

- ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

3年ぶりに代表者を一堂に会して実施しました。今回はサロンの代表者を5つのグループに分け、それぞれのグループにおいて「サロンの近況報告」「サロンの課題」についてグループワークを行い、最後に全員で共有しました。

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行ないました。（再掲）
- ・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

(5) 災害時要援護者登録制度事業

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。この台帳は、市との委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供させていただいています。

令和4年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川
登録者	8名	1名	60名	11名	13名	21名	41名	13名

合計 168名

(6) 生活困窮者自立支援事業

大月市内に在住し、コロナ禍による長引く不況や社会情勢などの原因により、生活を維持することが困難となった方に対して、就労支援や家計の見直し、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、各関係機関と連携を図りながら、相談者に寄り添い、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業を行いました。

今年度も昨年と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への総合支援資金（生活支援費）の特例貸付申請の際に本事業にて対応しました。また特例貸付と一体的に支援することにより、当事者、当事者家族の支援体制強化を図りました。

更に社協役員や関係団体協力の元、フードドライブ*を実施し、372.8キロの食糧が集まりました。必要としている相談者29名に手渡すことができ、当事者の直接支援が実施できたことで、就労や自立に迅速に繋げる事も出来ました。

(*＝主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集める。)

今年度の相談支援件数等は次のとおりです。

①自立相談支援事業

- 相談支援者数57名（新規8名）
- 年間延べ相談件数1,366件（うち、食糧支援件数29件）
- 住居確保給付金相談3件
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業11名

②家計改善支援事業

- 延べ相談支援者数16名
- 年間延べ相談件数18件

③就労準備支援事業

- 延べ相談支援者数23名
- 年間延べ相談件数31件

(7) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和3年度は、昨年を引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、239日を開館しました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

施設名	室名等	利用回数(回)	利用人数(人)	備考
2階 児童母子福祉 センター	子ども家庭総合 支援センター	276	502	
	児童館	275	2,505	
	計		3,007	

3階 障害者福祉 センター	栄養指導実習室外	188	1,459	会議室を含む。 研修室を含む
	マザーズルーム外	391	3,039	
	計		4,498	
4階 保健センター	保健運動指導室	161	2,218	
5階 老人福祉 センター	和室（研修等）	18	403	
	浴室 （主に浴室利用者）		1,322	
	計		1,725	
6階 多目的ホール	大小会議室	337	5,405	
見学・行事		1	486	
合計			17,339	開館 237日

②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図ることや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

● 福祉自動車（軽自動車2台・ワゴン車1台）（単位：人）

利用目的	通院	買物・旅行	計
軽自動車2台利用数	113	3	116
ワゴン車1台利用数	5	13	18

合計 134人

4 県社協受託事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

令和4年度は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお悩みの方々へ向けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しました（9月末にて特例貸付は終了）。

令和4年度の相談件数は延べ117件（内コロナ関係特例貸付は延べ81件）あり、申請件数は延べ26件、貸付実績額は8,800,000円でした。

特例貸付を開始した令和2年3月から令和4年9月末の終了時まで申請件数は延べ303件、貸付実績額は112,700,000円でした。

5 共同募金事業

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くするしくみ」として、お寄せいただいたご寄付を山梨県共同募金会にて取りまとめを行い、各種福祉活動（子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する様々な活動）や災害時支援等に役立てられるよう、各市町村へ配分されております。大月市においても配分金にて地域福祉活動事業を実施しております。

（共同募金は今年度集めた募金を来年度に配分する仕組みとなっております。）

大月市内においての令和4年度の共同募金実績額及び募金配分事業は次のとおりです。

（1）令和4年度赤い羽根共同募金（地区社会福祉協議会等からの募金実績状況）

令和4年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

地区名	金額（円）	地区名	金額（円）
笹子地区	228,000	瀬戸地区	186,000
初狩地区	336,500	猿橋地区	932,400
真木地区	340,724	富浜地区	736,400
大月地区	908,123	梁川地区	195,400
賑岡地区	674,383	事務局	379,756
七保地区	514,400	募金額合計	5,432,086

※各地区社協よりお願いした企業などの募金は大口募金として地区実績に含まれておりません。

（2）令和4年度共同募金配分金実施事業

項目	事業名	金額（円）
地域社会福祉事業	・社協だより・ボランティアだより発行事業（年4回発行）	342,000
あったかサービス事業	・ふれあいいきいきサロン推進事業（46か所へ助成）	780,000
重点配分事業	・ファーストスプーン事業（新生児39名へ配布）	200,000
市町村社協地域福祉活動事業	・地元愛醸成プロジェクト協力校事業（11校へ助成）	600,000
地区社協等小地域福祉活動事業	・老人憩いの家整備事業（14地区整備） ・地区社協活動推進事業（3地区へ助成）	1,800,000
地域福祉活動団体推進事業	・ボランティアサークル等育成事業（5団体）	250,000
歳末たすけあい事業費	・障がい児者等への贈呈事業（障害者福祉施設2施設）	150,000
合計金額		3,936,000

6 福祉金庫基金

(1) 福祉金庫貸付事業

在宅高齢者福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行ないました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和4年度においては、相談件数は0件でした。

介護保険

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。）及び障害者居宅介護サービス事業の運営がなされており、各事業所の令和4年度実績は下記のとおりです。

(1) 事業所の実施状況

	事業所名と職員体制	実績内容
指定居宅サービス事業	(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 (ホームヘルパー資格) ・常勤 2名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 8名 計10名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護の利用者年間307人に対し、年間合計約3,544時間の介護を実施しました。 ・介護予防の利用者年間41人に対し、年間合計約200時間の介護を実施しました。 ・障害福祉サービス事業では、利用者年間68人に対し、年間合計約834時間の介護を実施しました。
	(2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者(兼務) 1名 ・生活相談員(兼務) 3名 ・看護職員 常勤 1名 (機能訓練指導員兼務) 非常勤 1名 ・介護職員 6名 常勤 6名 非常勤 0名 (うち運転兼務3名) ・機能訓練指導員 1名 ・送迎者運転手(非常勤) 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者ならびに要支援等(利用者)年間利用者延7,464人(月平均約622人、一日平均約29.0人)の受入れをしました。 営業日数は257日。 <p>※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む</p>
指定居宅介護支援事業	(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 5名 計 5名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者年間合計1,778件のケアプランを作成しました(月平均約148.2人)。 ・ケアマネージャー一人当たり、1月あたり約30人を担当しました。

7 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況(年間実績)

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護保険 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		身体介護	生活援助	身体・生活 複合		
4月	23	130.0	50.25	114.0	294.25	12.8
5月	23	116.8	49.9	113.0	279.7	12.1
6月	23	122.8	53.0	113.5	289.3	12.5
7月	25	124.2	50.0	110.5	284.7	11.4
8月	26	130.3	56.25	137.25	323.8	12.4
9月	30	122.8	48.75	141.5	313.05	10.4
10月	27	117.2	46.0	144.75	307.95	11.4
11月	28	126.7	44.5	139.75	310.95	11.1
12月	26	113.0	39.25	125.25	277.5	10.6
1月	25	101.1	43.1	112.5	256.7	10.2
2月	26	117.7	40.75	127.9	286.35	11.0
3月	25	153.8	46.0	120.25	320.05	12.8
合計	307	1,476.4	567.75	1,500.15	3,544.3	11.5
1ヵ月平均	25.6	123.1	47.3	125.0	295.4	11.5
割合		41.7%	16.0%	42.3%	100%	

イ 介護予防分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護予防 延時間		合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		予防 1	予防 2		
4月	4	15.75	0	15.75	3.9
5月	4	14.25	0	14.25	3.5
6月	4	16.75	0	16.75	4.2
7月	4	8.25	8.0	16.25	4.0
8月	4	13.0	9.0	22.0	5.5
9月	3	5.75	9.0	14.75	4.9
10月	3	8.0	8.0	16.0	5.3
11月	3	8.0	9.0	17.0	5.6
12月	3	8.0	9.0	17.0	5.6
1月	3	9.0	8.0	17.0	5.6
2月	3	8.0	8.0	16.0	5.3
3月	3	8.0	10.0	18.0	6.0
合計	41	122.75	78.0	200.75	4.9
1ヵ月平均	3.4	10.2	6.5	16.7	4.9
割合		61.1%	38.9%	100.00%	

ウ 障害者利用者分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	延時間			利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		障 害		合 計	
		身 体	家 事		
4月	6	34.0	39.75	73.75	12.3
5月	6	13.5	55.5	69.0	11.5
6月	6	12.0	61.25	73.25	12.2
7月	6	11.0	65.25	76.25	12.7
8月	6	15.0	66.25	81.25	13.5
9月	6	17.0	69.75	86.75	14.5
10月	6	15.0	61.0	76.0	12.7
11月	6	13.5	51.75	65.25	10.9
12月	5	10.5	48.75	59.25	11.8
1月	5	11.0	47.25	58.25	11.6
2月	5	11.0	43.25	54.25	10.8
3月	5	10.5	50.75	61.25	12.2
合 計	68	174.0	660.5	834.5	12.2
1ヵ月平均	5.7	14.5	55.0	69.5	12.2
割 合		20.9%	79.1%	100.0%	

8 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	利用者数 (対象者)	延利用 者数	介護度等別						営業 日数	1日 平均
			要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4月	68	604	84	257	88	42	98	35	21	28.8
5月	68	612	93	266	92	38	83	40	22	27.8
6月	67	628	100	263	85	53	89	38	22	28.5
7月	72	611	93	264	78	54	84	38	21	29.1
8月	74	674	110	276	100	68	83	37	23	29.3
9月	73	673	101	274	103	77	87	31	22	30.6
10月	74	651	93	270	118	62	82	26	21	31.0
11月	75	656	110	268	107	49	90	32	22	29.8
12月	76	555	79	233	89	48	78	28	20	27.8
1月	72	559	93	228	99	46	69	24	20	28.0
2月	73	571	94	236	120	32	60	29	20	28.6
3月	72	670	102	256	143	47	88	34	23	29.1
合計	864	7,464	1,152	3,091	1,222	616	991	392	257	29.0
1ヵ月平均	72	622	96.0	257.6	101.8	51.3	82.6	32.7	21.4	29.0
割合		100%	15.4%	41.4%	16.4%	8.2%	13.3%	5.3%		

9 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	要介護者数	介 護 度 別					
		予防	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4 月	151	15	47	32	29	26	2
5 月	155	13	49	33	30	27	3
6 月	154	12	50	32	29	27	4
7 月	152	12	49	34	28	25	4
8 月	151	12	48	34	29	25	3
9 月	154	11	49	36	29	25	4
10 月	145	10	46	32	28	24	5
11 月	149	10	48	32	29	26	4
12 月	140	9	45	31	28	23	4
1 月	141	10	47	32	29	19	4
2 月	142	10	44	35	28	22	3
3 月	144	10	43	33	31	23	4
合 計	1778	134	565	396	347	292	44
月平均	148.2	11.2	47.1	33.0	28.9	24.3	3.7
割 合	100%	7.5%	31.8%	22.3%	19.5%	16.4%	2.5%

10 障害者サービス事業

(1) 地域生活支援事業

①移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。令和4年度は、登録者数1名に対し、延べ利用62日の支援をさせていただきました。

11 地域支援事業

(1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、福祉関係者等と連携を図り事業を実施しました。

①介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

ア パワーアップ教室

要支援認定者や介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもとで、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行ないました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行ないました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

グループ	期 間	回数	利用者	男	女	延べ数
1	4月12日～9月30日	28回	6	3	3	84
2	10月6日～3月31日	28回	6	3	3	120
合 計		56回	12	6	6	204

※新型コロナウイルス感染拡大の予防対策3密（密閉・密集・密接）を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を実施しました。

②一般介護予防事業

ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	77	70	76	74	69	72	66	65	68	64	66	71	838

※新型コロナウイルス感染拡大の予防対策3密（密閉・密集・密接）を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を実施しました。

イ 集いどころ「スマイル」

住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とし、福祉センターを集いの場として、参加者の憩いの場、生きがいの場、生活の張合いの場になるよう、毎週火曜日、木曜日、金曜日に軽体操、趣味、作り物、レクリエーション、脳トレなどを実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	12	12	15	9	12	12	12	10	13	10	12	9	138
実人数	49	50	47	40	40	45	45	43	43	36	41	45	525
延人数	124	131	161	82	106	126	125	91	116	75	110	82	1,329

※新型コロナウイルス感染拡大の予防対策3密（密閉・密集・密接）を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を実施しました。